

葵小学校の総合学習 『どうすればより良い高野川になるのだろう』

～ 京都府建設業魅力向上プロジェクト ～

令和元年10月9日（水）京都市立葵小学校の総合学習で、4年生の児童76名の皆さんと鴨川・高野川の災害対策や環境整備、水難事故の防止などについて、じっくり語り合いました。葵小学校では、身近な河川である高野川を題材として、これまで川の生きものや水質を詳しく調べ、「どうすればより良い高野川になるのだろう」という課題について学習を進められています。

その学習の一環として、今回、京都土木事務所から、

- ①大雨による洪水や土砂災害など川の恐さ
- ②川の生きものと外来種の侵入
- ③ゴミ捨てや落書きなど迷惑行為
- ④川遊びの楽しさと恐さ

についてお話し、それぞれの課題について、「自分たちに何ができるのか」をみんなで熱心に考えました。

また、高槻市の芥川で水難事故（4名死亡）があったことを受け、新たに設置を検討している水難防止看板等のレイアウトについて、アンケートをお願いしました。ユーザーである子供たちの目線から、分かりやすい表現について「なるほどっ!」と思う貴重な意見をいただきました。児童のみなさんの意見を活かして現地に看板を設置していきたいと考えています。

最後に、今回の出前語らいは京都府建設業魅力向上プロジェクトに位置づけ地域の安全や基盤を支える建設業のPRも目的の一つとさせていただいており、今日のお話をきっかけに、児童の皆さんが土木という仕事の役割を理解し、少しでも好きになっていただければ、これほど嬉しいことはありません。



総合学習の様子



アンケートの様子